

平成24年度 事業計画

1 基本方針

平成24年度は、浜松市シルバー人材センターが公益社団法人として新たなスタートをする年であり、また同時にセンターを設立して30周年を迎える節目の年として、さらには第3次5ヶ年計画の初年度となる重要な年でもあります。

一方、景気の動向は、長引く低迷からは回復しつつあるとはいうものの、東日本大震災の影響や急激な円高等もあり、その先行きは不透明であり、雇用情勢も依然として厳しい状況にあります。

このため、当センターにおいても、民間企業からの受注の減少と就業の場を求める入会者の増加という状況が続いています。

そこで、平成24年度は、公益社団法人としての事業運営を定着化させるとともに、普及啓発活動を踏まえた設立30周年記念事業の実施、さらには第3次5ヶ年計画の目標値を達成するための事業を推進してまいります。

また、就業先確保のための就業開拓に積極的に取り組むとともに、安全就業と適正就業を徹底します。さらに、少子高齢社会に対応する福祉・家事援助サービス、子育て支援事業、介護保険事業の推進を図り、活力ある地域社会づくりに貢献していきます。

このほか「最少の経費で最大の効果」を上げることができるよう、事務の効率化と経費の節減等に努めます。

以上のように、健全な財政運営の確立と社会から信頼されるシルバー人材センターを目指してまいります。

2 重点事業

- (1) 公益社団法人としての的確な対応
- (2) 第3次5ヶ年計画の推進
- (3) 設立30周年記念事業の実施
- (4) 安全就業と適正就業の推進
- (5) 就業開拓の積極的な取り組み
- (6) 福祉・家事援助サービス、子育て支援事業、介護保険事業の推進
- (7) 事務の効率化と経費の節減

3 事業実施計画

(1) 公益社団法人としての的確な対応

公益社団法人としてふさわしい体制作りのために、センターの基本理念である『共働・共助』のもと、会員主体の組織活動を活発化させるように努める。

(2) 第3次5ケ年計画の推進

第3次5ケ年計画（平成24年～28年度）に基づき、会員数の拡大・受注契約高の確保等の数値目標を掲げ、積極的に事業に取り組む。

(3) 設立30周年記念事業の実施

- ① 記念式典及び記念イベントを開催し、会員同士の融和を図る。
- ② 市内の公園等にて一般市民とともにボランティア活動を実施する。
- ③ 記念植樹を行い、広く一般市民への普及活動を行う。

(4) 安全就業と適正就業の推進

- ① 安全管理委員会委員を中心に就業先のパトロールを実施し、就業中の事故防止に努める。
- ② 事故原因の究明と類似事故防止対策を確立する。
- ③ 就業関係実技講習会や交通安全講習会を開催し、事故の減少を図る。
- ④ 安全就業を推進するための標語を募集し、その入選標語を会報等で会員に周知する。
- ⑤ 就業適正基準を会員に周知し、理解・協力のもとワークシェアリングを推進する。
- ⑥ 適正な受注を行うとともに、契約内容等の分析・精査を実施する。

(5) 就業開拓の積極的な取り組み

- ① 役職員による受注活動を行う。公共機関及び外郭団体からの受注獲得を推進する。
- ② センターが受注できる事業の調査、研究を行い就業開拓を行う。
- ③ 会員の資質の向上のため、積極的に接遇研修会・技能研修会を開催し就業場所の拡大に努める。
- ④ 会員全員がPR活動を行い「お仕事受注のためのチラシ」配布を行う。

(6) 福祉・家事援助サービス、子育て支援事業、介護保険事業の推進

- ① 福祉家事援助サービスの増強等による女性会員の就業分野の拡大と会員拡大を行う。
- ② 教員・幼稚園教諭・保育士等の経験のある会員の永年培った能力を活かし、子育て支援事業を積極的に行う。
- ③ 居宅介護支援及び訪問介護事業を強化し、利用者のニーズに沿ったサービスの提供に努める。
- ④ 行政をはじめ居宅サービス事業所や包括支援センターとの連絡を密にし、時代に即した介護保険事業を進める。
- ⑤ 訪問介護員の技術向上のための家事援助講習会や接遇研修会を実施し、利用者の要望に応えられるように努める。

(7) 事務の効率化と経費の節減

- ① 事務処理の効率化を目指し、事務内容を見直し、スリム化に努める
- ② 事務手順を見直し、日常的な事務業務を会員に担ってもらい、経費の削減に努めるとともに、会員の事務局への理解度を高める一助とする。